

【アイデア⑤】「コーディネーター通信」を活用した情報発信

特別支援学校の保護者が、副籍交流についての情報を得る機会が少ない場合、児童・生徒が行う交流の様子を十分に知ることができなかつたり、交流の希望を迷ったりすることがありました。

そのため、副籍交流の充実に向けたアイデアとして、特別支援学校では「コーディネーター通信」を活用し、副籍交流の情報を校内外へ発信しました。

「コーディネーター通信」を通じて、他の児童・生徒の交流の様子を知ることができ、直接交流を前向きに考えようとする保護者も現れました。

副籍交流の充実のためのアイデア

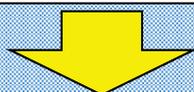
● 「コーディネーター通信」を活用して情報を発信する。

- 特別支援学校の保護者に向けて、「コーディネーター通信」を活用して、副籍制度の理解啓発を図りました。

- 副籍制度の概要
- 実際に行った交流活動の紹介
- 理解推進授業の様子 など

「コーディネーター通信」を特別支援学校のホームページにも掲載し、広く都民への理解啓発を行いました。

アイデアの成果



- 「コーディネーター通信」を読んだ特別支援学校の保護者から、副籍制度についての問い合わせや相談がありました。
- 特別支援学校の保護者から「他の児童・生徒の交流活動を知ることができてよかった」との感想があり、副籍交流についての理解が深まりました。

保護者の感想

- 他の子供達の交流の様子を知ることができました。うちの子供には難しいのかなと思っていましたが、交流について考えてみようと思います。



【アイデア⑥】「副籍事務連絡会」の実施

各特別支援学校では、副籍交流についての取組が盛んに行われていますが、特別支援学校間での情報交換は十分に行われていなかったため、その広がりには課題がありました。

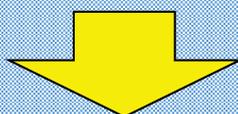
そのため、副籍交流の充実に向けたアイデアとして、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターが集まり、「副籍事務連絡会」を実施することにしました。

これにより、各校での交流活動の取組の工夫や課題を情報共有することにより、各校が交流活動を充実させることにつながりました。また、この連絡会は、新しく特別支援教育コーディネーターになった教員が、副籍制度について学ぶ機会ともなりました。

副籍交流の充実のためのアイデア

● 「副籍事務連絡会」を設定し、各校の情報を共有する。

- ・ 近隣の特別支援学校間で、副籍制度の推進に携わる特別支援教育コーディネーターが情報共有する場として設定しました。
- ・ 副籍交流の充実を図るため、各校における交流の実践を情報共有したり、課題を話し合っ解決したりすることを目指しました。



アイデアの成果

- ・ 各校の副籍交流の実践を情報共有したり、各校の課題解決に向けて話し合ったりすることができたため、自校の実践に活かすことができました。
- ・ 連絡会を通して、各校での副籍制度の手続きや取組について理解を深めることができました。
- ・ 特別支援教育コーディネーター間で情報交換することにより、若手教員の育成につながりました。

教員の感想

- ・ 他校の先生から、自分の学校でもやってみようと思う実践をたくさん聞くことができました。悩みを共有し、先生方みんなと一緒に考える場があることは大事だと思います。



【アイデア⑦】「副籍交流の手引き」の作成による教員間の連携強化

特別支援学校内では、特別支援教育コーディネーターが中心となって、副籍交流を推進しています。しかし、在籍児童・生徒数が多い学校の場合、特別支援教育コーディネーターだけでは全ての児童・生徒への対応が難しくなっています。

そのため、副籍交流の充実を図るためのアイデアとして、校内の全教員が副籍制度の手続きや交流活動を進めることができるよう、「副籍交流の手引き」を作成することにしました。

それまでは特別支援教育コーディネーターが副籍について対応していましたが、校内の全教員が副籍制度の手続きを進めることができるようになりました。

副籍交流の充実のためのアイデア

●校内の教員に向け「副籍交流の手引き」を作成・活用する。

- ・ 校内の教員に向けた副籍交流を進めるに当たってのマニュアルや、参考資料をまとめました。

- 書類の手続きの流れ
- 直接交流を行う上での一年間の流れや配慮事項
- 間接交流を行う上での実践例の紹介
- 理解推進授業を行う上での指導案（例）
- 保護者からの質問を集めた「Q&Aコーナー」 など

副籍交流についての情報を校内で共有し、より一層の充実を図りました。

- ・ 直接交流の一年間の流れをチェックリスト化すると、これまで行ったことや、次に行うことが分かりやすくなりました。

アイデアの成果

- ・ 特別支援学校の教員全体で、副籍制度についての理解を深めることができました。
- ・ 特別支援学校の児童・生徒の実態に応じた交流が実施できるようになりました。



平成26年度副籍制度改善検討委員会

委員名簿

所属・職	氏名	
明治学院大学 教授	金子 健	専門委員
東洋英和女学院大学 准教授	平田 幸宏	専門委員
都立小平特別支援学校 校長	堂東 稔彦	委員
都立調布特別支援学校 校長	坊野 美代子	委員
都立矢口特別支援学校 校長	早川 智博	委員
大田区教育委員会 指導課長兼幼児教育センター所長	菅野 哲郎	委員
調布市教育委員会 教育部 指導室長	村木 尚生	委員
小平市教育委員会 教育部理事兼指導課長	高橋 亨	委員
都立調布特別支援学校 主幹教諭	片山 陽子	委員
都立小平特別支援学校 主任教諭	大塚 真紀	委員
都立矢口特別支援学校 主任教諭	田中 美奈	委員

教育庁では、以下の者が担当した。

指導部特別支援学校教育担当課長	山本 優
指導部主任指導主事	岩崎 治彦
指導部主任指導主事	市川 裕二
都立学校教育部特別支援教育課統括指導主事	緒方 直彦
指導部義務教育特別支援教育指導課統括指導主事	島添 聡
指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事	木村 教光

平成26年度副籍制度充実事業
副籍事例&アイデア集

東京都教育委員会印刷登録
平成26年度 第207号

発行日 平成27年3月27日
発行 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課
所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号
電話番号 03(5320)6847

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

